

「鎌倉十三仏詣で」再現

来月から冬の観光活性化へ企画

江戸時代に盛んに行われた鎌倉十三仏詣でを知ってもらおうと、巡拝の対象となった鎌倉市内の13寺院を会場にした特別企画が2月5日から3月7日まで行われる。僧侶とともに十三仏を2日間で巡るイベントのほか、普段は非公開の本堂や収蔵庫の特別公開、体験座禅会、講話なども予定されている。

後極楽浄土へ旅立つことができるかと考えられてきた。明王院、浄妙寺、本覚寺、寿福寺、円応寺、浄智寺、海蔵寺、報国寺、浄光明寺、来迎寺、覚園寺、極楽寺、成就院の各寺院が十三仏を祭っている。

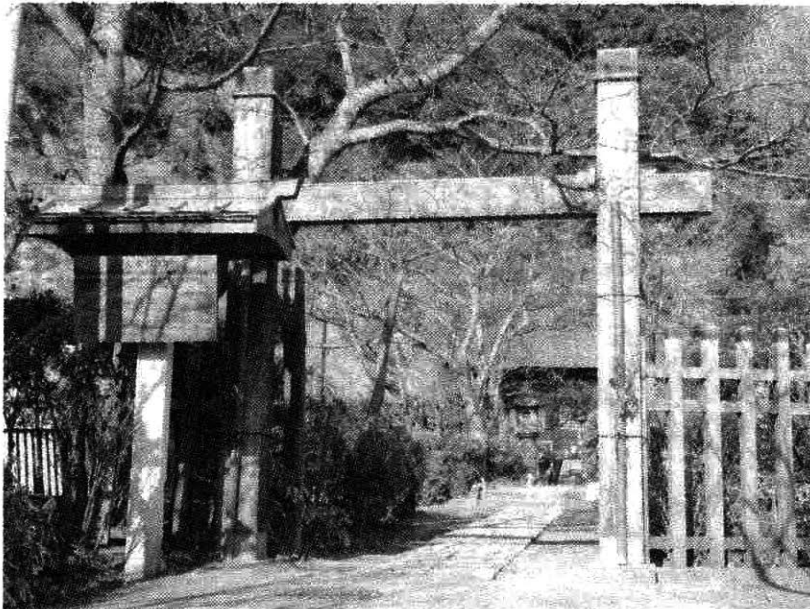
鎌倉十三仏詣では全国各地に残る十三仏霊場巡拝の一つ。十三仏のご朱印を集めてひつぎに入れると、死

この巡拝に着目したのが、地域サイ

ト運営会社「鎌倉トウデイ」。鎌倉ではこれまで13寺院の一斉特別公開などがなく、閑散期となる冬場に新たな観光コースとして定着させようと、今回の企画を考案した。

企画は①期間中特別公開②応募による特別公開③僧侶と巡る鎌倉十三仏の3本立て。①は期間中なら予

約なしに誰でも拝観が可能。②は応募当選者のみが参加でき、参加料は千円。応募締め切りは25日。



十三仏詣での一番札所「明王院」
＝鎌倉市十二所

また③は1番札所の明王院副住職の解説を聞きながら、2日かけて十三仏をすべて回る。開催日は2月17・18日と3月4・5日。定員30人で先着順。参加料は1万3500円。

応募の詳細は、鎌倉十三仏詣実行委員会事務局のホームページhttp://kamakuratoday.com/plan/13butsu.html（高田 俊吾）